

大田区サッカー協会少年部 主催  
[2026年度 U12 リーグ/U10 リーグ 大会要項]

**【開催趣旨】**

少年サッカーの発展、レベルの向上を目指すと共に大田区全域の交流を図る。  
サッカーという競技を通して体力の強化、及び健全なスポーツ精神の高揚を図る。

**【基本理念】**

JFA が掲げる『エンジョイ、プレイヤーズファースト、フェア、チャレンジ、リスペクト』を大田区サッカー協会少年部の基本理念として大会を運営する。

**【開催期間】** ※変更になる場合あり

- ① 前期リーグ 4月26日～9月を予定 → 7、8月は開催なしとする  
※2026年度 GW 期間開催 → 4月26日、4月29日、5月2日・3日・4日(※5日6日は開催なし)
- ② 後期リーグ 10月～1月を予定  
※天候やリーグ戦の進行状況により開催時期は変動します。

**【開催会場】**

下記の4箇所のグラウンドを中心に開催する。  
六郷グラウンド/ガス橋少年用グラウンド/昭和島二丁目公園グラウンド/森ヶ崎大・少年グラウンド

**【大会参加費】**

1チーム (U12 リーグ、U10 リーグ共通) 10,000円とし、参加するチーム数分を支払うものとする。  
4/5(日)の代表者会議までには確定いたします。  
※支払方法/期日等詳細については別途連絡する。

**【大田区リーグ参加資格】**

- ① 2026年度の参加を表明し、大田区サッカー協会少年部に加盟したチームを対象とする。
- ② 下記の「大田区リーグ運営」に賛同するチームを対象とする。
  - ・U12リーグ 6-5年生を中心に編成されたチーム(4年生の参加は可とする)。
  - ・U10リーグ 4年生を中心に編成されたチーム(3年生の参加は可とする)。

大田区以外が主催する大会(8ブロック/リハウスリーグ)に出場している選手の大田区リーグ戦への出場を認める。16ブロック参加選手についても同様とする。但し、U12リーグ、U10リーグにおける同カテゴリー内に複数のチームをエントリーした場合の重複出場は一切認めない。ただし、4年生の選手はU10リーグとU12リーグの1チームに限り重複出場は可能とする。

※選手の重複出場が確認された場合は該当チームにペナルティを課すものとする。

1. チーム(U12リーグ、U10リーグ)の複数エントリーについて  
1クラブが同一リーグに2チーム以上エントリーする場合、同選手が重複して出場することは不可とする。選手が前期/後期それぞれのリーグ戦開催中に1試合でも出場した場合は出場チームの入替・編成は不可。前期終了後、後期リーグ開始前におけるチームの入替・編成変更は可能とする。その際は事前登録票の再提出が必要となる。
2. 4年生選手、3年生選手のU12リーグの出場について  
4年生選手のU12リーグへの参加を可とするが、ケガのリスク等を含めチーム内で十分にマネジメントする事。但し、複数チームでU12リーグに参加する場合、4年生選手が複数チームの試合に出場することは不可とする。また、**3年生選手の出場については一切認めない。**
3. U10リーグへの2年生選手の参加について  
原則は4-3年生選手での参加とするが、チーム編成上やむを得ない場合、当日の選手補充として2年生選手の参加を認める。但し、その場合はチームが責任をもって成長、安全性を十分にマネジメントしたうえで参加させる事。**1年生選手の参加については一切認めない。**
4. 大田区内でのクラブ移籍について  
移籍前クラブでのリーグ戦出場があった場合は移籍後のクラブでの同期内リーグ戦は出場不可とする。ただし、前期終了後、後期リーグ開始前に移籍した場合の後期リーグ戦出場を認める。区外からの転校などによる移籍の場合は、移籍時期にかかわらずリーグ戦への出場を認める。

<重要>

リーグ戦の不都合日程について

下記の場合のみリーグ戦の不都合を認めるものとする

- ① 運動会、学芸会等の学校行事
- ② 1回/年のチーム合宿

※リハウスリーグ、全日本U12選手権大会参加の不都合日申請は認めない。

※JAカップ、ハトマーク、トーマス、バーモントカップについても不都合申請は認めない。

→ 都大会に勝ち進んだ場合のみ不都合申請を認める。

※インフルエンザ等の感染症については**2日前までに幹事チームに報告があった場合のみ認める。**

[大田区リーグ戦の編成]

1. U12リーグのブロック分けと編成について
  - 前期リーグは2025年度後期の成績により、1～3部すべて昇降格確定後に自動編成。(別紙組合せブロック割表参照)
  - 後期リーグは前期の成績をもとに、自動的にブロック編成する。(以下ベースとなる自動編成)  
→ 複数チームをエントリーする場合は抽選となる場合あり。
  - 後期から参加チームは3部に適切に割り振って編成を確定する。
  - 3部制として最大54チームにて実施予定、順位に応じて昇格/降格あり。

・大田区サッカー協会加盟42チームに加え、複数チームエントリーを希望するチームによる抽選で数チームを選出し、最大54チームを編成する。但し、抽選により参加が認められたチームは3部からの参加とする。

・チーム数 1部9チーム、2部2ブロック(各9チーム)、3部3ブロック(各9チーム)

・順位決定 勝ち点にて順位を決定する(勝ち=3点、引分け=1点、負け=0点)

→ 同点の場合 ①得失点差②総得点③該当チーム同士の対戦成績④PK 戦、抽選にて決定  
(※優先順位は ①>②>③>④ とする。)

● リーグ戦の昇格/降格について

昇格 2部各ブロック上位2チームが1部に、3部各ブロック上位2チームが2部に昇格する。

降格 1部下位4チームが2部に、2部各ブロック下位3チームが3部に降格する。

※昇格/降格は前期リーグ、後期リーグにて共通とする。

## 2. U10リーグのブロック分けと編成について

● リーグ戦は42チームにて実施 (最大 48 チーム)

① 前期リーグ A から F までの6ブロック、7チームにて編成し大会を運営

→ 3年生大会の成績よりシードチームを決定後、シード確定後、抽選でブロックを編成する。

②後期リーグ 前期のリーグの成績より1位から7位までの順位ブロックを編成し大会を運営

→ 後期から参加を希望するチームは最下位リーグからの参加とする。

※リーグ開始時に複数チームの参加を希望する場合は最大 48 チームになるまでは可能とする。最大チーム数を超える場合は抽選にて決定する。

## 3. 同一クラブにおける複数チームエントリーの扱いについて

● 複数チームエントリーは希望するチームにて抽選で行い、参加を決定する。抽選によって複数エントリーが認められたクラブは必ず参加チーム毎の試合に対応できるよう責任をもって準備する。(帯同・審判含めて) **スタッフ不足による不都合日は一切認められない。**

● 原則として、OFA 少年部は同クラブの別チームが同ブロックに入らないように調整するよう努力する。但し、U12リーグ後期で調整が困難な場合や U10 リーグ後期の順位ブロックにおいては、同じブロック内に同一クラブのチームが編成される事がある。前期、後期の開始前に参加を辞退するクラブがある場合は各クラブの責任において不参加(エントリー減)を判断する。

## 4. 複数エントリーを行うチームの名称について

● 同一クラブが同カテゴリ(U12/U10)の各リーグに複数エントリー可能な場合は、チーム毎にチーム名を割当ててを認める。割当ててチーム名は【クラブ名+愛称】というスタイルに統一する(チーム名の申告はエントリー時に行い、年度途中では変更できない(前期/後期共に同じチーム名を使用/継続とする)。

<チームの複数エントリーについて>

下記の条件を満たしたチームを対象とする。

- ・U12リーグ 選手が12人以上所属、且つ6-5年生の選手が8人以上在籍
- ・U10リーグ 選手が12人以上所属、且つ4-3年生の選手が8人以上在籍

※複数エントリーを希望するチームが定数を上回った場合は抽選にて参加可否を決定する。

**【注意】・3年生以下のみでの2チーム目のエントリーは不可とする**

[大田区リーグ戦運営]

1. U12 リーグについて

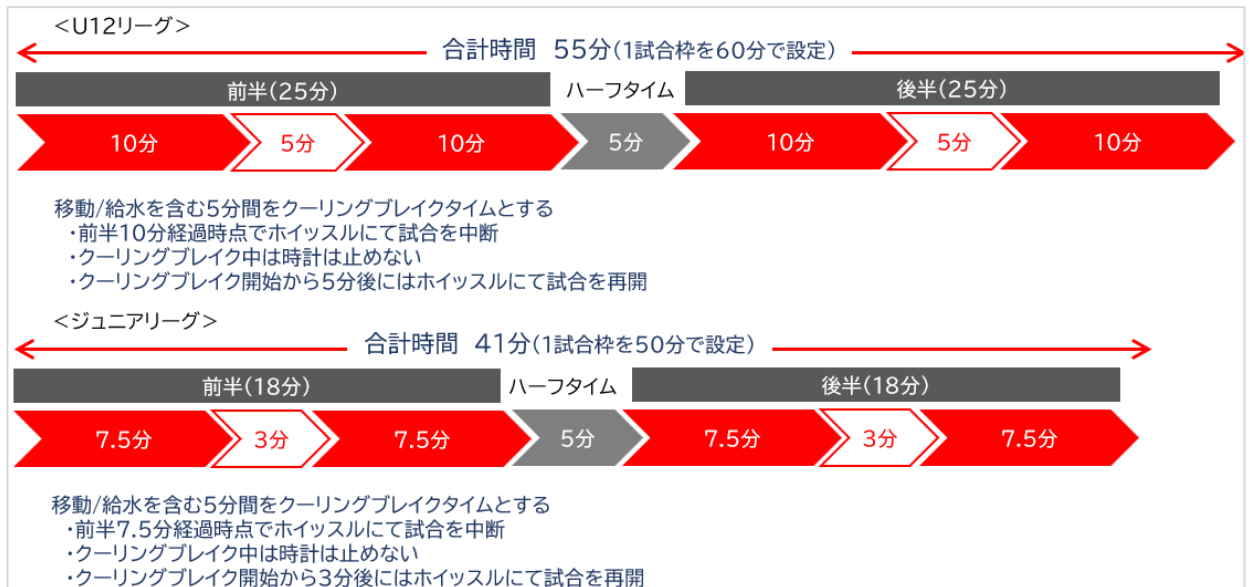
- ① 試合は8人制とし、審判は3審制で運営を実施。
- ② 試合時間は前半20分、ハーフタイム5分、後半20分とする。(試合時間について補足あり)

2. U10 リーグについて

- ① 試合は8人制とし、審判は3審制で運営を実施。
- ② 試合時間は前半15分、ハーフタイム5分、後半15分とする。(試合時間について補足あり)

3. 試合時間に関する補足(6月、9月の高温時の試合開催)について

高温時のリーグ戦開催時には熱中症対策として以下のクーリングブレイク方式にて試合を運営する



※導入時期については大田区サッカー協会少年部より別途連絡する。

※熱中症対策の給水タイムについては試合開催時の状況により参加チームにて判断する。

リーグ戦における悪天候時の対応について

■ 試合途中の雷や豪雨、またはグラウンドの冠水により試合を中断した場合

→ 試合終了まで行われなかった試合は、すべて不成立とし後日再設定とする。

※当日現場での中断判断は、審判団と運営担当にて行う。

※試合中断と判断された場合は OFA 少年部リーグ戦担当者への連絡をお願いします。

#### 4. 競技規則について

- ・日本サッカー協会「**競技規則(2025/26)**」に準ずる。規則改定については翌年度からの適用。
- ・基本、東京都少年サッカー連盟による「**日本サッカー協会8人制ルール**」を採用する。
- ・リーグ戦当日は試合に出場する選手、及び当日のチーム責任者を記載したメンバー表を必ず提出し、審判のチェックを受ける。ベンチを含めたメンバーはリーグ戦開始前に登録した選手のみとする。
- ・選手以外のベンチサポートは3名以内(必ず2名以上の指導者を含める)とする。
- ・試合各チーム8人で開始(=8人未満は試合不成立)。
  - 試合開始後、負傷者/退場者等で8人に満たないなる場合は6人までを試合成立とする。

**※当日の選手不足、コーチ不在による不都合については一切認めない。**

##### (1) ユニフォーム・装具

- 試合着用のユニフォームは、審判の判定に影響を与えることのない色を着用するよう試合開始前までに調整する。**ビブスは不可とする**。またチームによる優先権は無いものとする。同系色の場合は、主審によるコイントスにてユニフォームの色を決定する。
- 選手が着用するパンツは接触、交錯、転倒時の安全性を考慮してポケットなしパンツを着用する。
- GKも同様に適切な色の GK ユニフォームを着用する事とする。
  - FP 同様に2種類を準備する事。
- ベンチに入る選手、及びコーチは必ずピッチ内選手と異なる色を着用する事。ビブス等を活用して審判の判定に影響を与えないよう調整する。
- インナーウェアの色はチームで統一する事(ユニフォームと同色でなくても可とする)。
- 原則、眼鏡は着用しないものとするが、割れない素材を使用したスポーツタイプの眼鏡、ゴーグルは使用可とする。

##### (2) 選手の交代(フリー交代制)

- フィールドプレイヤーはインプレー中に主審に告げずに交代できる。
- フィールドプレイヤーは必ず交代ゾーン(ベンチサイドのハーフライン両側3m)から出入りする。
- ゴールキーパーはアウトオブプレー時に主審に告げて交代する。
- ゴールキーパーの交代はゴール脇からアウト、交代ゾーンからインし、定位置についてから再開する。

##### (3) レッドカードへの対応

- レッドカードにより退場者がでた場合は、ベンチ入りしている選手を補充し8名にて試合を続ける。カードを提示された選手は該当試合に交代による再出場は不可とする。
- 交替要員がない場合は補充なしで6名まで試合続行とする。(負傷選手を無理に試合に出場させることは不可。)ただし、5名以下となる場合はその時点で試合を中断し、当日の運営チームから少年部に状況について報告する。少年部は状況の調査/状況確認を行い試合成立、不成立再設定、没収試合、不戦敗等の対応を決定する。後日、決定内容を関係チームに通知する。

- レッドカード対象選手の出場停止処分に関しては、原則協会では管理しない。  
競技規則に従いチームおよびブロック幹事担当者で対応すること。ただし、問題等が確認できた際は OFA 少年部理事会、常任理事会にて協議する場合がある。  
レッドカード対象の選手は次のリーグ戦1試合の出場不可とする。またイエローカードの累積2枚も同様とする。

#### (4) 給水タイムの採用

- 当日の気象条件・WBGT計の数値を基に各試合の開始前に参加チームにて協議し、給水タイムの採用可否を決定する(原則、主審の独断で採用することは不可)。
- 前・後半それぞれの半分の時間(U12=10分前後、U10=7-8分)を目安に、アウトオブプレー時に主審の合図で給水を行う。
- 1分間を目安とし、**アディショナルタイムにカウントしない**。選手はピッチから出ない。
- 給水タイム時の指示については可とするが、選手の給水を最優先に考慮すること。
- 給水タイム時の選手交代を可とするが、必ず主審に報告し交代ゾーンで交代する事。
- 給水タイム後の試合再開は、アウトオブプレーとなった場所から主審の合図をもって適切な方法で再開すること。

2024 年度より採用済のクーリングブレイクについては大会要項記載とおり、OFA 少年部からの通知により導入時期を決定する。(6月中旬から後半、9月初旬から中下旬を予定)

#### (5) 審判について

JFAサッカー審判員の資格を有する者が3審制(主審1名、副審2名)で試合を運営、必ず審判員ワッパンを付けた審判服を着用すること。グリーンカードの積極的な提示を心掛けフェアプレイ精神、リスペクト精神の醸成を図る。

※審判員への暴言やリスペクトを欠く行為は、いかなる理由があっても認めない。

- 冬季の防寒は黒系のインナー、手袋の着用は可とするが、ニット帽、ネックウォーマー等の着用は不可とする。
- 審判に不測の事態が発生した場合は、主審チームから1名審判を補充して対応する。
- 眼鏡の使用は不可とし、コンタクトレンズを装着し審判を行う。やむを得ない場合は必要に応じてゴーグル式の安全なものを着用する。

審判員への暴言やリスペクトを欠く行為は、いかなる理由があっても認めない。そのような行為が確認、報告された場合は OFA 少年部にて厳粛に調査を行い、当該チームに対して厳粛なペナルティを課すものとする。

※各チームにおいても審判の育成に注力することをお願いします。

(6) 競技フィールド

・推奨サイズ 縦 68m × 横 48m(U12リーグ/ジュニアリーグ共通)

ゴールエリア:4m、ペナルティエリア:12m、ペナルティマーク:8m、ペナルティアーク:7m  
センターサークル:7m、コーナーク:1m、交代ゾーン:ハーフウェイラインより各3m



※その他事項については大田区少年部より別途配信する「リーグ戦運営ガイド」をご確認ください。

※緊急連絡 必要な場合は下記の大田区リーグ戦担当者にご連絡ください。

**※また要項に無い問題点が発生した際は、下記記載スタッフの対応・判断し、それを最優先する。**

新野 哲也(090-1093-6415)

福盛 幹夫(090-8290-1140)

2026 年度リーグ戦特記事項

- チーム登録後に「全選手・スタッフリスト」を提出
- エントリーをする際には選手・スタッフの割り振りに注意
- チームごとに「リーグ戦参加メンバー事前登録票」を提出
- 年間不都合日一覧表を提出